

5月18日の米国株式市場の下落について

小売大手の低調な決算で市場心理が悪化

2022年5月19日

インフレでの業績悪化とインフレ抑制目的の金融引き締めを懸念

5月18日（現地、以下同様）の米国株式市場は、NYダウが▲3.57%、S&P500が▲4.04%、ナスダック総合が▲4.73%となるなど、大きく下落しました。小売大手ターゲットの発表した2-4月期決算が予想を大きく下回ったことが、市場心理を悪化させました。ターゲットの決算が悪かった主な要因は、インフレによるコスト増です。17日には同じく小売大手ウォルマートが2-4月期決算を発表していますが、売上が予想を上回ったにもかかわらず、コスト増の悪影響が大きく、利益は予想を下回りました。このようにインフレによる企業業績の悪化が続いたことで、市場参加者が慎重姿勢を強めたとみられます。

また、17日にはパウエルFRB（米国連邦準備制度理事会）議長が、インフレの低下が明らかになるまで積極的に金融引き締めを行うといった趣旨の発言をしたことを受けて、FRBはインフレ抑制のためには多少の景気悪化もいとわない方針であると考えられたことも、市場心理悪化の背景にありそうです。インフレによる企業業績の悪化が心配される一方で、インフレ抑制のための金融引き締めが行き過ぎることも懸念されるという難しい状態にあることが、市場の不安定さを高めていると思われます。

ただし、先週発表された4月の消費者物価指数や生産者物価指数では、前年比の伸び率が3月から鈍化しており、インフレ抑制の兆候が見えなくもありません。今後発表される経済指標でさらにインフレ抑制が明らかになってくれば、市場参加者の不安も和らいでくると考えられます。

米国主要株価指数

(2021年10月初～2022年5月18日)

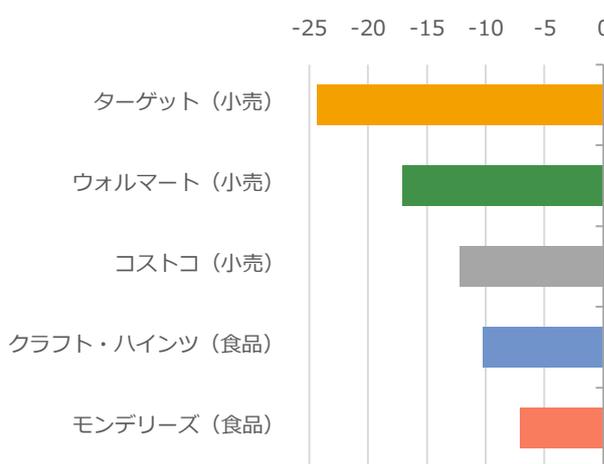


※2021年10月初を100として指数化

(出所) ブルームバーグ

米国主要企業の株価騰落率下位 (過去1週間)

(2022年5月11日～2022年5月18日) (%)



※主要企業はS&P100採用企業

(出所) ブルームバーグ

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management